



子どもの施設
ノーサイド石切・西堤
卒ディ式
開催日時 2022年 3月26日(土) 14:00~
場所 ノーサイド石切
※日時・場所に変更になる可能性があります。

春は出会いと別れの季節。今年も、卒ディ式の時期がやってきました。ディとの別れだけでなく、子どもから大人へと、次なる人生のスタートを切る大切な瞬間でもあります。新型コロナウイルス感染対策をできるだけ実施したうえで、子どもたち・ご家族・スタッフ一同、関わる全員にとって良い思い出となるよう、新たな旅立ちにふさわしい式を企画しております。

大人の施設
入所式のお知らせ 大人の施設に新しい仲間が増えますよ(〇〇)/今年はずっとたくさんの仲間が増えるよー!!皆さま、よろしくお願ひ致します!

開催日時 2022年 4月4日(月)・5日(火) 11:00~開式

そして親睦を深めるために…
ノーサイドおなじみのBB大作戦ならぬ、『SBBB大作戦!!!』Specialな親睦(shinBoku)を深めるポッチャバトル大作戦!!も開催します、お楽しみに☆

ZOOMを使って
オンラインを繋がります!
ぜひみなさんでお祝いしましょう(〇〇)!
オンラインの方法など詳しくは
後日お知らせ致します。

小中学校での福祉授業

今年度最後の福祉授業に行っていました。
東大阪市立孔舎衛中学校での授業のお手伝いです。今回は中学3年生のみなさんへ、「車椅子バスケット体験」「障がいとは?を学ぶ座学」この2本立てです。
「車椅子バスケット体験」ではいつものように、楽しく体感していただきました。「障がいとは?を学ぶ座学」こちらの座学は、まず、障がって何?障がいを者ってどんな人?など生徒の皆さんに考えていただくところから入り、障がい当事者である特定非営利活動法人ばあとなの西條さんに、障がい者になった時のこと、それから現在に至るまで、現在の生活などお話をいただきました。そしてその後は、NGなしの質問タイム!
生徒のみなさんからは「寝るときは?」「結婚は?」「おトイレは?」「どんな家に住んでるの?」「好きな映画は?」「収入は?」などなどたくさんの質問をいただきとても盛り上がりました。私たちがお手伝いするからには、ノーサイドらしい授業にしていきたいと、来年度に向けていろいろと計画しています。
たくさんのお子たちが、障がい福祉について考える機会を持つことで、多様性を理解し、それぞれの違いを力に変えられるようになればいいなと思っています。



ばあとな 西條さん

コロナ感染症対策について

ノーサイドでは、障がいのある方々とみんなで一緒に協力しながら過ごしております。手洗い・うがいの励行、設備の消毒を毎日行い、3密を避けながら施設活動、イベントを行っております。
毎月2回、全スタッフPCR検査実施しております。



さて3月が元気いっぱい始まりました!これから少しずつ暖かくなるといよいよ春がきますね!みなさんオリンピックは見られましたか?色々物議があつて、スツキリしない部分などもありましたが、やはりスポーツは人の心を動かすなあと感じながら見ていました。特にカーリング、みなさまもテレビの前でホウキでマネして掃きませんでしたか?ウォーとかヤップなど掛け声のマネをしませんでしたか?カーリングと言うスポーツから学んだ事は、しっかりとコミュニケーションを取る所です。マイクが付いていて世界中に聞こえているのも気にせずに、あーでもないこーでもない議論し、あそこが良かったここが良かった仲間を称える。しかも自分のチームだけではなく相手チーム選手も称える。試合がどうかより選手のコミュニケーションばかり集中して観戦していました。ホントにたくさんの学びがありました。職場や学校、地域生活の中でもあんなカタチでコミュニケーションが取れたら今ある悩みがかなり解消するのではないかな?と思います^^

コミュニケーションに少し繋がるお話です。
先日僕が塾長をさせていただいています、「ダイバーシティ塾」が開塾しました!!
「ダイバーシティ塾」??それは…なんですか?と、なりますよね。
ノーサイドがトップパートナーとして応援している東大阪市に本拠地を置くサッカーチームFC大阪さんと一緒に、本当の意味でのダイバーシティ(多様性)を考える場所を作れないかと企画し、始まったのが「ダイバーシティ塾」です。塾長は僕です。でも、僕が何かを教える塾ではなく、みんなで一緒に考える塾です。塾長の僕も一緒に考え学びます。
僕の役割は、20年近い福祉現場での経験や、10年の福祉会社経営の経験から、多様性のある考え方や捉え方を伝え、多様性のある社会を作るとは一体どんな事なのか?を皆さんで考えるお手伝いをする事です。これからのダイバーシティ塾についてお伝えします。

〈テーマ〉障がい者雇用・女性活躍社会・世代間を超えて・個性や価値観の違いを力に変える
〈参加者〉ダイバーシティ(多様性のある社会)にご興味がある方なら誰でもOKです。男女でもそれ以外でも、子供から高齢の方でも、社長でも社員でもパートさんでも、家事をされている方でも!
言葉だけが先行してしまっている「SDGs」の本質の部分「ダイバーシティ & インクルージョン」についてしっかりと深掘りし、理解を深めていきます。それをする事で、これからの新しい社会を創生していくことが出来ると信じています。僕は、「ダイバーシティ & インクルージョン」に本気で取り組むことで世の中が変わると信じています。これらを実現させる為には、介護や障がいの事だけでなく社会福祉の立場から世の中に強く発信していかないといけないと思っています。



ノーサイドは介護と真剣に向き合い全力でやってきました。
次はその介護の経験や知識を世の中に伝え「全ての人が暮らしやすい」「全ての人が働きやすい」「全ての人が安心出来る」社会を創生するお手伝いをしたいと思います。僕が生きているうちには実現しないかもしれませんが、必ずいつか「ダイバーシティ & インクルージョン」が実現するように、そして実現に向かっていくように、取り組んでいきたいと思っています。どうぞ皆様もご参加いただき、そして一緒に考えて欲しいと願っています!



ディエスジャパン 北條社長

FC大阪 近藤社長

ダイバーシティ塾

●第1回 配信済み
入門編「ダイバーシティってなに?」この塾の目的やこれからの予定など、今後のお知らせがいっぱいです

●第2回 4/21(木) 14時~予定
今後は2か月に1回の予定で参加者同士のディスカッションを行いながら一緒に考え理解を深めていきます



まずこの放送を見てください!



塾長 中西良介

活動報告

ノーサイドの
取り組みを
テレビで放送して
いただきました

アートを仕事に

医療的ケア児
コーディネーター

各施設の
情報を
随時更新
しています

施設ブログ

会社情報
Facebook

石切 放課後等 デイサービス

鬼は外～！福は内～！！

日に日に寒さも和らぎ、外に出やすい季節となりました。
感染対策をしっかり行い、少しでも散歩ができればいいなあ～(^.^)
2月2日は節分！季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う
儀式なのでみんなで豆に見立てたボールを鬼に投げました！そして壁面製作ではかわいい鬼や
怖い鬼など個性豊かな鬼が出来上がり、鬼が玄関に大集合しました(*^^*)



俊徳道 総合障がい 福祉施設

新しい目標

最近ある本を読みました。ダムに沈んだ村に最後まで住み続けた、あるおばあさんのお話です。そのおばあさんは山間の小さな集落で育ちました。そのおばあさんはこう言います「わたしは6人兄弟の長女。一番下とは20歳も違うでな。わしの子ともいってもおかしくなかった。10人以上兄弟があった家も近所にあった。昔はみんなで支え合って暮らすのが当たり前やったで、人が入り混じってこちゃこちゃの中で育ってきたな。だから出入りする人間関係がなかなか分からなかった。——近所の人たちも助けてくれたんやろうと思う」(一部略)と。

大人の施設では『出来ることを増やす』という目標で進みつけ、今回の新しい目標ができました。その目標の一つがまさしく『みんなで協力する』です。障がいの軽い重い、あるないにかかわらず、みんなで支え合えば仕事も余暇も、どんなことにも取り組み、楽しむことが出来ると思い、昨年末から考えこの目標にたどり着きました。それが目標ではなく当たり前できるように日々この目標で過ごしていきます！さて、4月からは新しい仲間も増えます！！気持ち新たにみんなで楽しく過ごして行こう☆



西堤 放課後等 デイサービス

鬼は外、福は内

もうすぐ桜の季節がやってきますね！！もう少し暖かくなったら外に出て、お散歩して、満開の桜と一緒に写真を撮りたいですね(●^o^●)
さてさて、話は変わり。「悪い子はいねえかあ～！！」
じゃなくて「鬼は外～福は内～」そう！

2月2日は節分でしたね。ティでは鬼を倒せるように、鬼の顔を子どもたちに作ってもらいました。可愛い鬼もいれば、鋭い牙を持つ鬼もいて、迫力がすごかったです！みんな頑張ったね！！



NOSIDE YOKO NUMA 横沼 アートの施設

アーティスト紹介：早川ひかるさん

横沼です。コロナで中々、外には出られないご時世ですが、それはそれで我々が作家さん達は作品づくりに集中出来ているようです。

ノーサイドで1番の努力家早川さんは作風が少しずつ変化してきているようです。「ここからどうしようかな?」「これはどうみえていますか?」気になる事があればすぐにスタッフに質問がとんできます。いつも色々悩みながら、人に聞きながら最後は、自分で決めて絵をすすめています。雨の日も雪の日もコロナ禍の日々でも集中して毎日コツコツ描いています。

仕事ですからそれはそうなのですが、作品に対するその真摯な姿勢にはスタッフ一同、頭が下がる思いです。それもあってなのか以前はモチーフの正面からの絵が多かったのですが、最近は色々な角度から観た作品が多くなり、色使いも多様性が増したような印象です。カラフルで明るい作風である自分の良さは残しつつ引き出しを増やそうとされています。リースしていただける企業さんも増えてきました。是非、そういった作風の変化などもお伝えして、楽しんでいただけるよう工夫できればと考えております。2月はコロナ禍のため、契約企業への絵の交換は中西社長がお伺いしています。みんなのためなら何でもしてくれます！頼もしい！

